

はたち 20歳輝く明日へ!

# 平成16年度成人式

1月9日、平成16年度の成人式が中央公民館で催され、新成人たちの晴れの門出を祝いました。



▲「記念品贈呈」新成人たちに記念品としてオリジナル図書カードが贈られました。



▲会場入り口に設けられた募金箱。善意の募金が45,000円集まりました。  
▲司会進行を務めた成人式実行委員の橋本純子さん(左・福岡)と日下千登勢さん(福岡)

## 御礼のことば



▲御礼のことばを述べた成人式実行委員長の遠藤慎吾さん(白川)と八島奈緒美さん(越河)

本日私たちは、五百余名の仲間とともに、成人式を迎えることができ、大変うれしく思いますとともに、これまで私たちを温かく見守っていただきました家族や地域社会の皆様深く感謝いたしております。

私たちは今回の成人式を機に、大人として社会に貢献できる成人者として、何ができるか、何をなすべきかを考えてまいりました。

その結果として、平成13年度より始めました募金活動を今年度も継続して行うこといたしました。

た。寄附をさせていただき「NPO法人白石うぐいす会」は、精神障害者の方々が、自分らしく暮らしていけるように、多くの市民の方々の理解を得る活動と支援を行っている団体であります。私たちもこの趣旨に賛同し、今回の募金が「白石うぐいす会」の活動に少しでも貢献できればと願ひ、寄附することになりました。私たちの行う寄附が、一人でも多くの精神障害者の方のお役に立てれば幸いです。そして、私たちが今日の成人式の喜びを思い出すときは、社会に貢献することの大切さも思い出すことでしょう。

私たちは今日の成人式を機に、激動するこの時代を、広い視野を持ち続け、流行に流されることなく物事を深く考え、常に自分の行動に責任を持ちながら歩むことをここに誓い、御礼のことばといたします。

## 成人おめでとうございます!

今年度の成人式は、昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方々が対象で、対象者は市内各地区在住者や市外転出の白石出身者など517名。降りしきる雪の中、晴れ着やスーツなどに身を包んだ新成人たちが続々と成人式会場に集まりました。



▲しんしんと降る雪の中、新成人たちが続々と会場に集まりました。



▲記念写真に収まる新成人たち。



▲「久しぶり!」「変わらねえ!」とあちこちで再会を喜び合う姿が見られました。

## 新成人たちから一言!

- 成人式会場で、新成人の皆さんに抱負や意見などをインタビューしました。
- ◆
- 春から就職します! 社会人としてのマナーをしっかり守って頑張っていきたい。
- 看護師の国家試験を頑張りたい。
- 自分の力を最大限に生かしてよい日本を作りたい。
- 成人になったことを意識して一つ一つ行動していきたい。
- 働いているスーパー銭湯を繁盛させることが目標です。

- 白石で育ったことを誇りにしてこれからも立派に生きていきたい(横浜在住の新成人の方から)。
- 社会人としての自覚を忘れず、これから社会貢献していきたい。
- 新成人となった実感はあまりないですが、(よその町の成人式のように)このようなところで暴れているようではだめだと思っ



かつてより簡素化された成人式でしたが、新成人の皆さんは、簡素化された中にも20歳の節目をそれぞれがしっかりと受け止めていたようでした。  
新成人の皆さん、それぞれの輝かしい未来に向かって頑張ってください。「活躍をお祈りします。」



新成人へ  
お祝いのことば

白石市長 風間 康静

本日成人を迎える517名の皆さん、誠におめでとうございます。いよいよあなた方の出番です! これからは「責任・自覚・義務」を大いに果たし、すべての白石市または会社、または地域で皆さんの力を発揮してください。  
本日雪で白いキャンパスができあがっておりますが、これからのあなた方の人生劇場を、自分のプロデュースで自分が主役となって描いていってください。白石市といたしましても、あなた方の力を大いに期待しております。どうぞ地域で、市で、また、それぞれの会社・学校で力を大いに発揮することを期待して祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



▲式典終了後のアトラクションでは、和太鼓グループ「幻創」の半田孝夫さん(郡山)と南部聡子さん(村田町)が大鼓演奏を披露。新成人の門出を祝い、旅立ちの日・晴れの良き日にふさわしく、力強く楽しい曲目を次々と演じました。



▶「成人式実行委員」として成人式の企画運営にたずさわった新成人の皆さん。